

特集「近世日本における〈北方〉イメージ」について

著者	横山 泰子
出版者	法政大学国際日本学研究所
雑誌名	国際日本学
巻	16
ページ	83-83
発行年	2019-03-29
URL	http://hdl.handle.net/10114/00021867

特集 「近世日本における＜北方＞ イメージ」について

横 山 泰 子

この特集は、2017年7月23日に法政大学ボアソナード・タワーで開催されたシンポジウム「近世日本における＜北方＞イメージ」における発表をもとに、構成したものである。このシンポジウムは三菱財団研究助成金（第45回 平成28年度人文科学研究助成）を使用し、法政大学国際日本学研究所の主催で行われた。

三菱財団研究助成金は、横山泰子、米家志乃布、小林ふみ子による「近世日本における＜北方＞イメージ—絵地図とテキストに探る多様性の研究」という申請テーマに対して助成されたものであった。研究目的は、近世において蝦夷地と東北諸藩を含めた＜北方＞の多面的なイメージをあぶり出すことにあつた。文学と地理学との共同作業によって＜北方＞へのまなざしとそのアイデンティティを多角的に検討すべく、一年間にわたり研究を行い、最終的に学外の研究者を招聘したシンポジウムを開いた。終了後も報告者は対話を行い、各自で論文を執筆した。本特集はその成果報告である。